

「スター・オブ・トゥモロー賞」受賞のボルナ・コリッチも参加 YONEX VAMOS・J JAPAN キャンプ開催！

2014年11月14日～16日



ヨネックス株式会社は、将来にわたり世界で活躍する選手の育成を図るヨネックスのジュニア支援プロジェクト『YONEX VAMOS・J』の JAPAN キャンプを11月14～16日まで兵庫県にて開催しました。本キャンプには、ATP ランキングトップ 100 の最年少選手として「スター・オブ・トゥモロー賞」を受賞し、今、世界一期待される若手選手となった 18 歳※のボルナ・コリッチ選手(クロアチア/ V コアツアー97、ポリツアースピン使用)も参加しました。

JAPAN キャンプに VAMOS・J 卒業生のコリッチ選手が参加

コリッチ選手は、2011年の VAMOS・J キャンプに海外招待選手として参加しており、いうなれば VAMOS・J の卒業生です。その後、全米オープンジュニアで優勝し、ランキングも今やトップ 100 とスターへの階段を駆け上がっています。18歳ですでに世界を股にかける VAMOS・J の先輩は、ジュニアたちと一緒にラリーをしたり、アドバイスを送り、ジュニアたちは世界を肌で感じ大きな刺激を受けたキャンプとなりました。

※「スター・オブ・トゥモロー賞」受賞時は 17 歳。11月14日に誕生日を迎え 18 歳となりました。



本キャンプには総勢 48 名が参加しました。



コリッチ選手とラリーをしたジュニアは「ボールが速くて伸びてきた！」とトップ選手のボールに驚いていました。

夜のセミナーではコリッチ選手への質問タイムが設けられました。プロとジュニアとの違いは？という質問には、「どんな時でも冷静であり、そしてどんな場面でも決して諦めないこと。あとはプレーのレベルが違うね」と話し、また、先日の試合でラファエル・ナダル選手に勝ったことに関して「本当に嬉しい。自分を信じてプレーした。それは試合をやる上でとても大切なことだよ」とコメント。最後にキャンプに参加したジュニアに向けて「一緒にテニスをしてみんな上手で驚いた。1人1人才能があるので、このまま一生懸命努力すれば目標を達成できるよ」とメッセージ送ってくれました。



今回のトーナメントで優秀な成績を取めた4名は、来年3月に行われますスペイン遠征に今年度の代表として臨みます。



台湾からも各世代のトップ選手がキャンプに参加し、「日本のジュニアのレベルが高く驚いた。また機会があったらぜひ参加したい」と話してくれました。

YONEX VAMOS・J 概要

2011 年よりスタートした育成プログラム「YONEX VAMOS・J」は、将来に亘り世界で活躍する選手の育成を図るため中学生以下の世代を対象に、試合とクリニックを融合させたキャンプを全国で実施する、スキル力と実践力の養成を後押しする「ヨネックスのネットワークを動員したテニス育成システム」です。

<YONEX VAMOS・J の意味>

VAMOS:スペイン語で「前へ、先へ」 **J:**Junior の頭文字

<活動目的>

- テニス競技の普及・発展
- 日本人選手の育成・強化
- トップ選手育成システムの確立

<キャンプ概略>

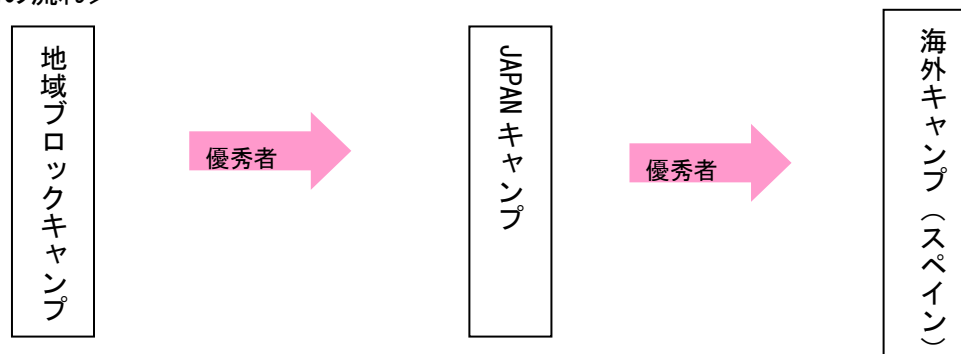
種目/参加人数: 中学1、2年生のクラス、小学生のクラスの男女シングルス/各ブロック最大 32 名

地域ブロック: 北海道、東北、北信越、関東、東海、近畿、中国/四国、九州 計8ブロック

日数: 2泊3日(オンコートクリニック、セミナー、マッチ)

地域ブロック選手選考方法: 2011 年度以降の JTA 公認全国大会地域予選シングルス出場経験者の中から、プロジェクトスタッフが戦績および将来性を考慮し選考。

<活動の流れ>



<コーチングスタッフ>

スーパーバイザー: 小浦猛志氏(公財 日本テニス協会常務理事)、
畠中君代氏(ビッグKテニス代表取締役/校長)

ヘッドコーチ: 竹内映二氏(前デビスカップ日本代表監督)

プロデューサー: 中山芳徳氏(ワールドジュニア(14歳以下)日本女子代表監督)

コーチングプロスタッフ: 坂本真一氏、兼城悦子氏、本村剛一氏、岩淵聡氏、吉田友佳氏 等

トレーナー: 田島孝彦氏、金子和宏氏 等

ディレクター: 二本松一(ヨネックス株式会社)

アシスタントディレクター: 首藤康一、宮坂元人(ヨネックス株式会社)